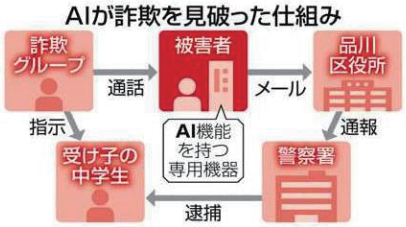
ＡＩ ニセ電話詐欺見破る

会話内容から判断

ニセ電話詐欺の手口で高齢者から現金をだまし取ろうとしたとして、警視庁荏原署は18日、詐欺未遂の疑いで、埼玉県草加市に住む中学３年生の少年(14)を逮捕したと発表した。固定電話機に外付けする専用機器の人工知能（ＡＩ）が、会話の内容からニセ電話詐欺と見破り、被害を未然に防いだ。警察庁によると、ＡＩを活用した摘発事例は全国初とみられる。

専用機器はＮＴＴが開発したもので、詐欺グループが多用する「かばんをなくした」「お金を貸して」などのキーワードや文脈からＡＩが詐欺と判断すると、事前登録した家族らにメールや自動音声などで通知する仕組み。



未遂疑い 受け子の中学生逮捕

今回は登録していた東京都品川区から署に通報が入り、だまされたふり作戦をして、現金を受け取りに来た中学生を現行犯逮捕した。

逮捕容疑では、共謀し、今月６日、品川区に住む80代の女性宅に複数回電話をかけ、区内の公園で現金をだまし取ろうとした疑い。中学生は容疑を認め、「何件かやった」と供述しているという。

ＮＴＴ東日本によると、ＡＩ機能を持つ専用機器による詐欺対策のサービスは2020年11月に開始し、全国で200件の契約がある。品川区は、希望した区民の高齢者を対象に専用機器の設置代金を負担しており、月額440円を負担すればサービスを受けられる。（井上真典）

『東京新聞』2022年1月19日付23面